

令和 2 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	塚田武弘
全体計画						経費区分	—			内線	3531	
事務事業名		10660 屋代線跡地活用事業										
所 属		200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策		06033300 橋や道路整備の推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費										
事 業		020000 屋代線跡地活用事業										
事業目的						事業概要・効果						
須坂市長野電鉄屋代線跡地活用基本構想に基づき、長期的なまちづくりの推進や沿線地域の諸課題の解決を図り、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。						活力ある地域づくりと交通体系の充実をはじめ、地域住民の日常生活に必要な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たす。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
維持管理	維持管理ならびに、県の元気づくり支援金を活用した手作り普請協働事業により、地域住民と協働して簡易舗装の整備を行なう。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
維持管理	維持管理
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
維持管理	維持管理

指標名						
算式						
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		500	500
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		500	500
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	1,453.0	1,453.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,453.0	1,453.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,953.0	1,953.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	500	除草等業務委託500
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	500	除草等業務委託500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	低い
評価コメント	草刈り等の維持管理のみを行っている	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	あまり有効ではない
評価コメント	上記のとおり	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	上記のとおり	

振り返り（決算年度の取組み課題）

草刈り等の維持管理のみを行っているのが現状

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
跡地の有効利用・維持管理等も含め、地域住民との協働により継続して進めていく。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
未整備区間の整備促進を図りながら、維持管理を引き続き行っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	